



# 大船渡水産振興センター「復興板」

令和元年6月28日発行 第76号

## 1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

令和元年5月31日現在の管内県営漁港関係施設災害復旧工事の進捗率は、80%となっています。  
(令和元年5月31日現在)

	災害査定 (R1再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁 港	242	34,244,006	240	32,552,576	32,479,703	95	229
漁港海岸	11	34,007,361	11	27,203,861	22,258,753	65	3
漁 場	2	498,880	2	498,880	498,880	100	2
合 計	255	68,860,247	253	60,255,317	55,237,336	80	234

## ・ さっちゃんNEWS part 1

### <ウニ漁がはじまりました>

大船渡管内では、5月21日からウニの水揚げが始まりました。初日は集荷数量、平均単価ともに昨年を下回り、6月27日現在は、平均単価は下回ったままですが、集荷数量は累計約9.5トンで、昨年6月末現在の8.6トンと比べて多くなっています。

ウニのむき身の色、身入ともに良いとこのことで、今後の好漁が期待されます。大船渡管内の水揚げは8月中旬ごろまで続く予定です。



### <岩手県漁業士会大船渡支部について>

5月27日に岩手県漁業士会大船渡支部総会が開催され、平成30年度事業実績・決算と令和元年度事業計画・収支予算案が承認されました。

漁業士とは、地域で活躍している漁業者を知事が認定するもので、地域漁業の中心的役割を果たしています。現在、県内で84名、うち当支部は26名が認定されています。

当支部では、海外や県内外の研修会、地元小中学生の水産教室への指導などの活動を行っています。



宮城県漁業士会との  
交流会



台湾視察風景



### ★★★\_スマイル130 (いちさんまる) プロジェクトについて\_★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。

## 2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況

### (1) 共同利用施設等の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。  
令和2年度に巻揚機1件の整備が予定されています。

### (2) 大船渡市魚市場の水揚げ状況（平成31年1月1日から令和元年5月末累計）

令和元年		平成30年		震災前 (H20～H22の平均)		前年比 (H30/H29)		震災前（H20～ H22の平均）との 対比	
数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
13,052	1,054,583	12,316	1,415,319	10,259	852,262	106	75	127	124

出典：いわて大漁ナビ

平成31年1月から令和元年5月までの大船渡市魚市場の水揚量は13,052トンで、昨年の約1.1倍、震災前の約1.3倍でした。主な水揚げ魚種は、イサダ(5,590トン、2億8千万円)、サバ類(4,332トン、3億3百万円)、マイワシ(2,149トン、1億1千3百万円)などでした。特に、定置網によるサバ、マイワシの漁獲が好調で、震災前と比べてマイワシは34倍、サバ類は250倍の水揚量となっています。

## ・ さっちゃんNEWS part2

### <いわて水産アカデミー研修生「<sup>ささき よしまさ</sup>佐々木快昌さん」の紹介>

今年4月から開講した「いわて水産アカデミー」の研修生の佐々木快昌さんについて紹介します。

佐々木さんは久慈市出身で、現在、陸前高田市米崎町で佐々木洋一さんの指導のもと、カキ養殖について研修中です。久慈高校卒業後、関東の大学に進学後、千葉県内の建設用クレーンのリース会社に11年間勤務していました。「もう一生田舎暮らしはできないかもしれない」と思っていた矢先、東京で開催された気仙地域の物産イベントで佐々木洋一さんの息子の学さんと知り合い、今まで味わったことのない濃厚なカキと人柄に惚れて、千葉県から移住を決意しました。「いわて水産アカデミー」の開講式から約2カ月半が経ち、佐々木快昌さんは、「佐々木さん親子が丁寧に指導してくれるので、少しずつですが養殖技術が身についていることを実感しています。季節ごとに仕事が変わるのも漁業の魅力。今ではカキ養殖業以外に就業することは考えられない。」と話していました。1年間怪我なく研修を修了し、岩手の漁業担い手の一人として末長い活躍を期待しています。



(左)佐々木洋一さん(右)佐々木快昌さん



カキの筏で種の仕込み作業(左)学さん



「さけの子さっちゃん」は、  
大船渡水産振興センターの  
PRキャラクターです



『復興板』に関するお問い合わせ先  
沿岸広域振興局水産部  
大船渡水産振興センター〔担当 宮田〕  
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階  
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229  
E-mail:BG0004@pref.iwate.jp